

# 神奈川県西部地域における 1999(平成 11)年の GPS・光波測量結果

小田義也\*

温泉地学研究所では、神奈川県西部地震の予知研究の一環として、図 1 に示す県西部地域の 4 ヶ所に GPS 観測施設を配置し地殻の伸び縮みを測定しています。観測施設に設置された受信機は、GPS 衛星からの電波を 1 日に 2 回(1 回 6 時間)受信しています。受信したデータは自動的に当所内の端末へ送信され、観測施設 2 点間の距離(基線長)を計算します(伊東、1994)。

また、光波測量では箱根町仙石原と小田原市城山にそれぞれ設置された光波測量装置で、各観測点までの距離を 1 時間毎に測定しています(伊東、1994)。

図 2~図 4 に 1999 年 1 月から 12 月の光波測量および GPS 測量の結果を示します。

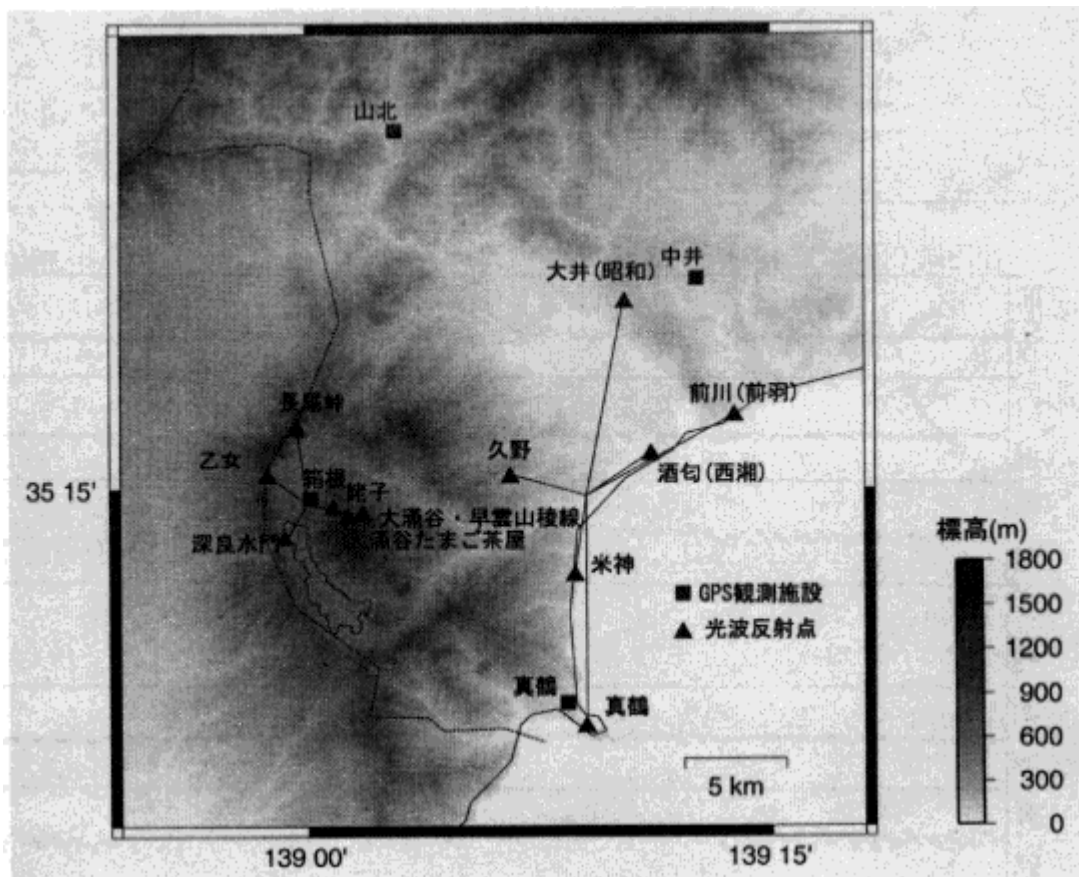


図 1 GPS 測量および光波測量の観測施設位置

\* 神奈川県温泉地学研究所 小田原市入生田 586 〒250-0031

資料, 神奈川県温泉地学研究所観測だより 通巻第 50 号, 39-41, 2000.

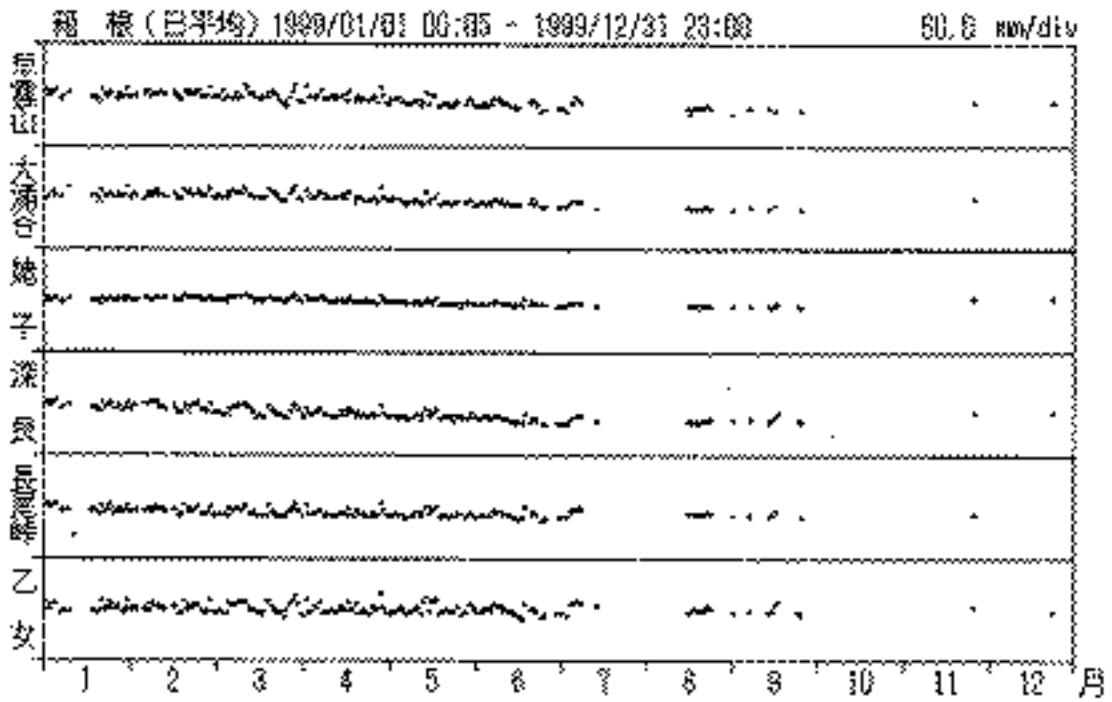


図2 1999年の光波測量結果(箱根)

7月以降の欠測は光波測量装置の老朽化による不具合が原因です。

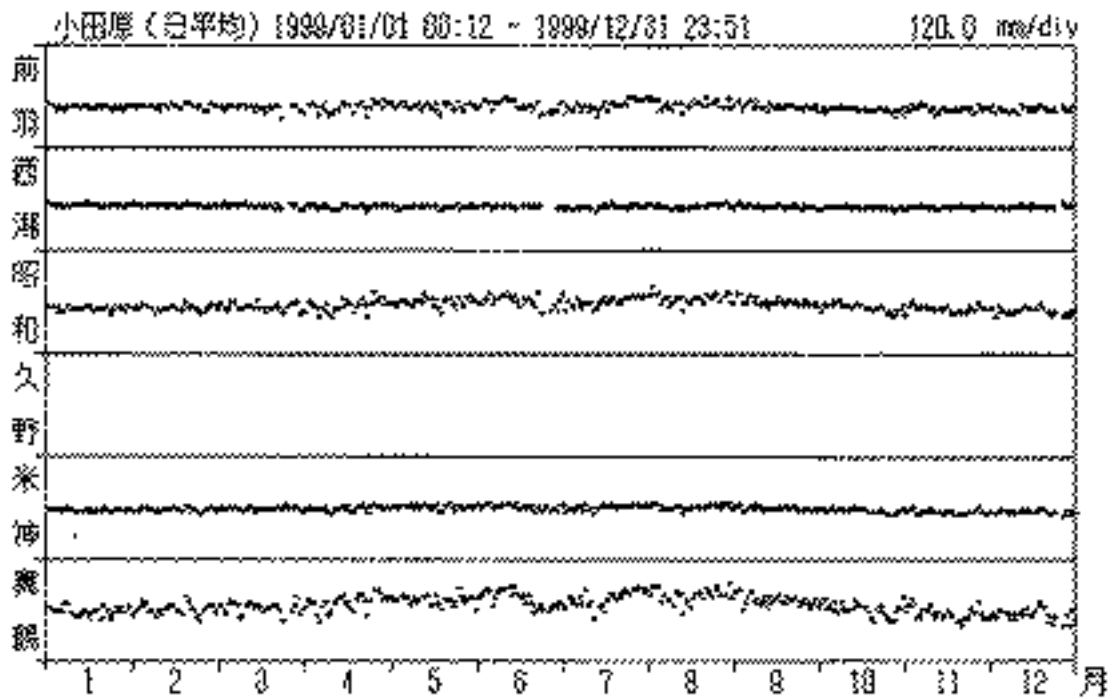


図3 1999年の光波測量結果(小田原)

久野測線の欠測は反射器移設のためです。

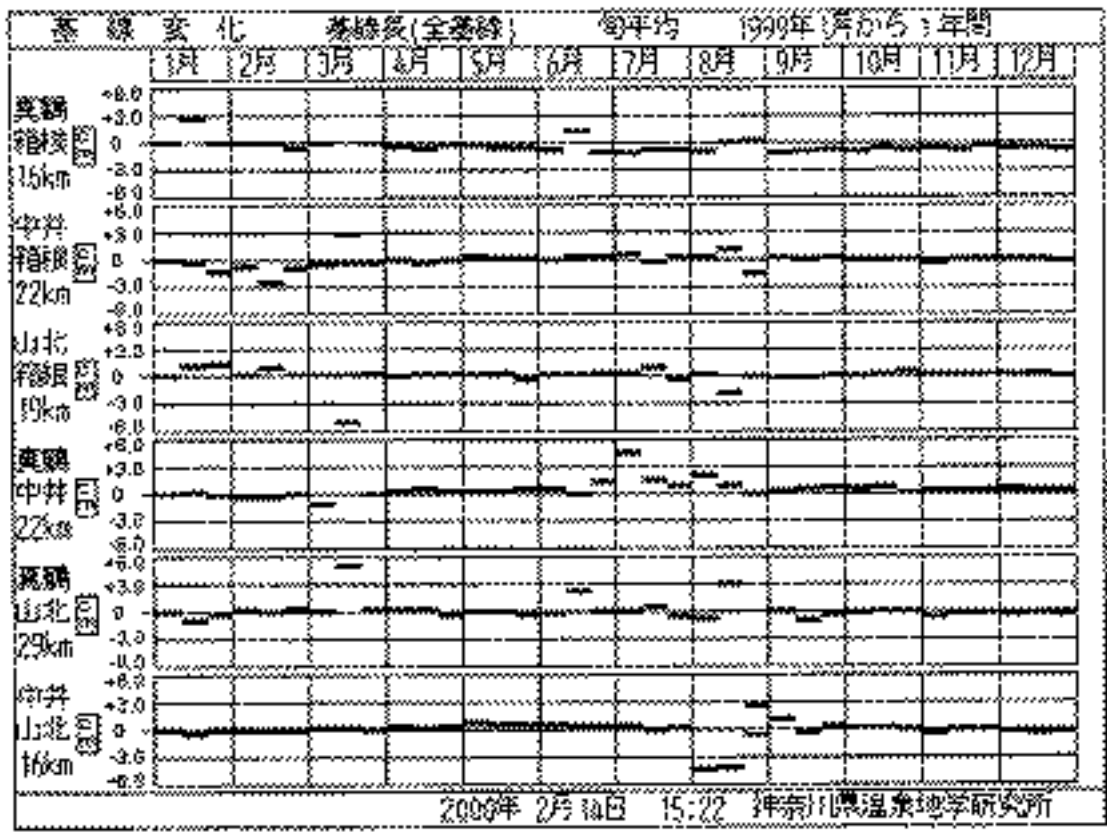


図4 1999年のGPS測量結果  
 基線長変化の旬平均を1月上旬の値を基準(±0)として表示しています。

**参考文献**

伊東 博(1994) 強化された神奈川県西部地域の地震観測施設,  
 温泉地研観測だより, 44, 1-8.